

令和4年度

通常総会議案

とき 令和4年5月27日(金) 18:00～

ところ 滝川市民交流プラザ

～ 一般社団法人 滝川国際交流協会 ～

一般社団法人 滝川国際交流協会
通常総会議事日程

1. 開 会
2. 会 長 挨 拶
3. 来 賓 挨 拶
4. 総 会 成 立 宣 言
5. 議 長 選 出
6. 議 事 録 署 名 人 指 名
7. 議 事
 - (1) 報告第1号 令和3年度事業報告について
 - (2) 認定第1号 令和3年度収支決算報告について
 - (3) 報告第2号 令和3年度会計監査報告について
 - (4) 議案第1号 令和4年度事業計画(案)について
 - (5) 議案第2号 経費の負担(案)について
 - (6) 議案第3号 令和4年度収支予算(案)について
8. そ の 他
9. 議 長 退 任
10. 閉 会

令和3年度（2021年度）事業報告

I 継続事業

1. 国際交流事業

① 国際交流のタベ「やさしい日本語講座」

12月19日（日）

「やさしい日本語でコミュニケーション」

講師 北海道日本語センター 阿部仁美 氏

会場 三浦華園 参加者 30名

滝川ロータリークラブの協賛を得て、地域に住む外国人・日本人の関係性を意識させ、多文化共生地域づくりにむけて「やさしい日本語」を学び、活用するきっかけを考えることを目的として開催。

講演内容は①滝川市と近隣の外国人の状況、②文化の異なる人とのコミュニケーション、③外国人とのコミュニケーションのための「やさしい日本語」について、演習を中心に展開。

② 紙袋ランタン制作体験ワークショップ <2022年2月13日 於：滝川市内>

→ 1月27日から2月20日まで北海道全域で「まん延防止等重点措置」が出されたため中止。

（北海道地域活動振興協会ボランティア助成金は辞退）

③ ジュニア大使訪問団派遣事業 <今年度は中止>

今年度は、未来のジュニア大使を増やす取り組みを意識した活動を実施。

・滝川市立開西中学校1学年の総合学習において、「滝川市の国際交流」の単元指導案の作成に協力し、授業内で『国際交流』についてのプレゼンを実施。



開西中学校での様子

【支援事業】

① 国際交流支援事業

滝川西高校が実施するスカンジナビア・ニッポンササカワ財団からの事業について支援している。



滝川西高校とスウェーデン王国ヴィトフェルスカ高校との、渡航しての相互交流は中止となりました。10月下旬からスウェーデンウィークを開催、10月28日（木）スウェーデン大使館から第一書記官ヨハン氏を講師に招へいして講演会を実施しました。さらに、2月には、ヴィトフェルスカ高校とオンライン交流を行っています。

補助金先であるスカンジナビア・ニッポンササカワ財団との連携で協会が支援。

② 滝川市国際交流イベント支援事業 <随時 於：たきかわ観光国際スクエア>

滝川市の国際交流員（CIR）が各自1か月単位で各国をテーマに実施した国際交流事業を支援。

GLOBAL MONTH 11月：ラブさん（アメリカ） 12月：アデリンさん（シンガポール）

1月：ボロルさん（モンゴル） 2月：アンさん（ベトナム）

2. 国際協力事業

① JICA課題別研修「小規模農家のためのアグリビジネス振興（B）」

コース研修員受入事業 <6月 3日～8月13日 於：オンライン研修>

<2月14日～2月25日 於：オンライン研修>

2021年度の受入研修員：フランス語圏アフリカ6カ国12名

ブルキナファソ、コモロ諸島、コンゴ民主共和国、ギニア共和国

マダガスカル共和国、マリ共和国

6月～8月は、2020年に作成した遠隔講義用の教材を配信して研修を実施し、YouTubeによる動画配信後、単元ごとにオンラインによる振り返りや質疑応答、意見交換などを実施し、アクションプランの作成まで実施した。最終評価において、研修参加者からは、「講義動画・翻訳（通訳）・研修者及び講師との交流活動など、非常に良い研修であった」との評価を得た。

来日しての研修は難しかったので、滝川の農業についての動画を夏から撮影して技術編教材を作成しました。2月に技術編を活用して、オンライン研修を実施した。

② 「北海道在住外国人緊急支援プロジェクト」（食料支援）

<9月12日（日） 於：たきかわ観光国際スクエア>

<2月13日（日） 於：たきかわ観光国際スクエア>

生活に困窮している外国人に対して食糧支援を行うためのプロジェクトを、HIECCと連携して実施した。（1回目の参加者：40名）（2回目の参加者：24名）

技能実習生が中心の支援活動となったが、地域に住む外国人でこれまで関係性の薄い外国人の方々を知るきっかけとなった。

3. 国際理解事業

① シンガポールスタディツアー <シンガポール共和国> 9月～4月まで実施

今年度の派遣は中止しました。次年度開催に向けた準備として、バーチャル体験によるシンガポールスタディツアーを、シンガポール政府観光局・シンガポール国立大学・JICAなどと連携して開催した。（参加者：滝川高校1名 滝川西高校3名 研修回数：13回）

- ・シンガポールへの渡航・歴史と文化について
- ・滝川市元CIR（フィさん）：マーライオンパークからオンライン交流
- ・滝川市元CIR（レジナさん）：シカゴからシンガポールについてのオンライン講義
- ・シンガポール国立大学とのオンライン交流（シンガポール国立大学参加者：13名）
- ・JICAスリランカ事務所からオンライン講義（国際貢献・多文化共生・SDGs）
- ・シンガポール進出日本企業研究
- ・日本とシンガポールの友好関係
- ・シンガポール料理教室（講師：CIR アデリンさん）
- ・滝川市CIRによる国際文化セミナー参加

② 国際化講演会

- ・「やさしい日本語でコミュニケーション」講座（12月19日（日））

PI「国際交流のタベ」の欄に詳細掲載済み

- ・「国際交流員による国際文化セミナー」（2月～3月）

新しい試みとして、滝川市CIRを講師として、オンラインで国際文化セミナーを開催した。

- ・2月 3日（木） ラブ・ライアン氏・・・「これだ！」とは言い切れないアメリカ
- ・2月10日（木） シンジェー・ボロルチメグ氏・・・モンゴルってどんな国？
- ・2月17日（木） アデリン・アン・リー・リン氏・・・シンガポールあるある！
- ・2月24日（木） グエン・ゴック・アイン氏・・・ベトナムはどんな国
- ・3月 3日（木） 高野康夫氏・・・今さら聞けない韓国の基本のキ
- ・3月10日（木） 全体交流

（参加者10名）

③ ブルックライン高校との交流活動

2021年2月から定期的に打ち合わせを持ちながら、高校生主導でビデオによる交流（相互に4回ずつ）を、年度をまたいで実施した。

ZOOMの練習・体験を経て、5月11日（火）には、オンラインによる交流活動を行った。
（日本時間 21:20～22:40 アメリカ時間 8:20～9:40）

6月16日に最終まとめの発表会を実施。

（参加者：滝川西高校生：7名 ブルックライン高校生：14名）

II その他事業

I. 国際理解事業

① TIEA語学教室

<春・夏（4月～9月）、秋・冬（10月～3月）>

於：街なかひろば く・る・る、たきかわ観光国際スクエア>

【1期＝1回50分（ア：1回25分 オ：1回30分）×15回】

ア 韓国語基礎（月曜日：10名） <春・夏> 10名 <秋・冬> 8名

イ 韓国語初級（月曜日：10名） <春・夏> 10名 <秋・冬> 8名

ウ 韓国語中級（月曜日：10名） <春・夏> 4名 <秋・冬> 5名

エ 韓国語上級（月曜日：10名） <春・夏> 7名 <秋・冬> 6名

オ キッズイングリッシュ（小学1・2年生）（火曜日：8名）

<春・夏> 8名 <秋・冬> 8名

カ キッズイングリッシュ（小学3・4年生）（火曜日：10名）

<春・夏> 9名 <秋・冬> 6名

キ キッズイングリッシュ（小学5・6年生）（火曜日：10名）

<春・夏> 7名 <秋・冬> 6名

ク 英会話初級（火曜日：10名） <春・夏> 10名 <秋・冬> 10名

ケ 英会話中級（木曜日：10名） <春・夏> 9名 <秋・冬> 5名

コ 英会話上級（水曜日：10名） <春・夏> 7名 <秋・冬> 6名

コロナ禍によるまん延防止対策や緊急事態宣言を受けて、韓国語講座は6月20日まで開始を遅らせ、その他の講座は、5月16日から6月20日まで休止した。さらに、8月末から9月末まで同様の理由により休講。講座については、感染防止のため定員を減らした。現在ALTの減（新規採用が入らない状況）により講座を縮小している。

秋冬については、開始時期が大幅に遅れたため、すべてのコースで回数を短縮して8回の開催とし11月15日の週から開始し、2月末までに終了。

② 2021年度「実用英語技能検定」試験実施事業

公益財団法人日本英語検定協会が年3回（各回とも1次試験、2次試験）実施する「実用英語技能検定試験」を受託し、実施。

実施日：第1回 1次： 5月30日（日）受験生36名

2次： 6月27日（日）受験生146名 7月 4日（日）受験生8名

第2回 1次：10月10日（日）受験生45名

2次：11月 7日（日）受験生226名 11月14日（日）受験生25名

第3回 1次： 1月23日（日）受験生36名

2次： 2月20日（日）受験生191名 2月27日（日）受験生15名

③ 地域日本語教育スタートアッププログラム事業

文化庁が実施する「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業「地域日本

語教育スタートアッププログラム」に応募し、採択された。今年度は、地域の外国人の状況や日本語教育への興味関心などの実態調査を中心に展開。

6月23日(水) キックオフ会議(オンラインによるアドバイザーとの会議)

6月29日(火) 事業計画書提出

8月～ 聞き取り・アンケート調査

9月24日(金) 第1回コーディネータ会議

11月30日(火) アンケート調査結果報告会

12月15日(水) 文化庁による事業実地調査

12月19日(日) 講演会開催 「やさしい日本語でコミュニケーション」

12月21日(火) 文化庁による「日本語教育スタートアッププログラム報告会」

1月18日(火) アドバイザー会議(オンライン)

2月13日(日) 紙袋ランタン制作体験 (まん延防止等重点措置により中止)



アンケート調査報告会



④ 笹川平和財団 スカラシップ事業説明会

3月28日(月) 2022年度から開始する事業(高校卒業生がアメリカ・イギリスの指定した大学に進学する時の奨学金説明会)を、高校生及び高校教員向けに開催した。

2. 調査・研究資料提供事業

① JICA草の根技術協力事業(草の根パートナー型)

「新ブランド作物(玉ねぎ)による農家の収入向上～フードバリューチェーン構築～」

<通年 於: 滝川市内外、モンゴル国>

5月26日(水)に担当者を現地派遣した。春先は作業が若干遅れていましたが、その後玉ねぎの栽培については順調に進めることができ、見込んでいた生産量(種球の収穫等)を達成することができた。(10月22日(金)帰国)

今年度は、基盤整備が中心となったが、モンゴル国内のコロナ感染症拡大の影響で度々移動制限がかかるなど一部の作業に遅れが出るようになった。さらに、モンゴル国内の物価が高騰したため、当初予算では対応できなくなり、12月に契約変更手続きを行ない対応した。

専門家が渡航できていない状況が続いている。また、冬期間の玉ねぎ保管については課題が残ったした。



モデル農園の様子



<関連>

【JICA】から実施団体のインタビューを受け、ホームページに紹介されています。

紹介ページ → https://www.jica.go.jp/sapporo/topics/2021/20220114_2.html

【JICA】から 2021年度 JICA-Net マルチメディア教材として本事業が指定され、取材を受けている。

モンゴルでJICA事業を進めている他団体の依頼を受けて、JAたきかわを紹介した。
(1月27日にオンラインで「滝川のなたね取組事例」の講義が実施された。)

② 協会ニュース「TIEA'S ROOM」

<No. 124 7月15日(木) 発行>

会長挨拶/通常総会・新旧理事紹介/支援団体紹介/ブルックライン高校オンライン交流/開西中学校総合学習/学生ボランティア募集/JICA課題別研修(草の根技術協力)/TIEA語学教室講師からのコラム/TIEA語学講座(春・夏)

<No. 125 9月1日(水) 発行>

JICA課題別研修/日本語スタートアッププログラム/地域・国際貢献贈呈式/外国人緊急支援プロジェクト/コラムinモンゴル/ See you again!/TIEA語学講座申込

<No. 126 12月1日(水) 発行>

在住外国人支援プロジェクト/草の根技術協力事業/シンガポールスタディツアー/TIEA語学教室[秋・冬] New CIR・ALT紹介/国際貢献贈呈式/協会主催事業のお知らせ

<No. 127 3月1日(火) 発行>

「やさしい日本語でコミュニケーション」/地域日本語教育/国際貢献贈呈式/CIRによる国際文化セミナー/地域国際化ステップアップセミナー/在留外国人支援プロジェクト/新ALT紹介/国際貢献贈呈式/TIEA語学教室申込

③ JENESYS オンライン交流プログラム 【テーマ：若手ジャーナリスト交流事業】

(対象国：インドネシア共和国) <3月12日(土) 於：滝川市>

一般財団法人日本国際協力センター(JICE)から協力依頼を受け、インドネシア共和国から若手ジャーナリスト18名を受け入れた。オンラインでの交流となったが、滝川市の四季や産業等の自治体紹介、市内の報道機関(プレス空知・FMG sky)などを紹介した。その後オンラインホームビジットを開催し、4家庭の協力を得て実施した。

Ⅲ 法人会計

Ⅰ. 調査・研究資料提供事業

① FM G' S k y番組「てい～ずる～む」

地域の国際交流・国際協力等の情報を提供することを目的として、平成13年11月の開局当初からオン・エアしており、本年度で21年目を迎えた。市内外在住外国人、国際関係イベント等の情報提供を主体に、会員の出演を促している。観光国際課観光国際系の支援を受けて、協会事業の裾野を広げる手段の一つとして活用している。

【毎週土曜日11:00~12:00、周波数77.9MHz】

② ホームページ

平成11年度に開設して以来、内容を充実させるよう工夫している。随時最新情報を提供し、有益な情報を会員等に提供するよう利活用に努めている。スマホ版の作成を検討している。さらに、当協会を応援してくださっているボランティアの皆様が中心となり立ち上げた、Facebookページ「TIEA Friends」（平成26年度開設）を情報発信ツールとして活用している。

HPアドレス <http://www.msknet.ne.jp/~tieda/index.html>

③ 第15回かめのり賞活動奨励賞

財団法人『かめのり財団』が主催する日本とアジア・オセアニアの若い世代の交流を支援する団体への支援『かめのり賞』に「人材育成部門」で応募し、最終選考まで残り奨励賞を受賞した。

(活動奨励金30万円)

④ 会議研修など

<4月15日(木) 於:たきかわ観光国際スクエア>

JICA北海道 前「草の根事業」事後調査結果に基づき、今後の支援活動などについての意見交換をオンラインで行った。

<4月22日(木) 於:たきかわ観光国際スクエア>

JICA次年度研修事業にかかる説明会が開催され、オンラインで出席した。

<5月17日(月) 於:たきかわ観光国際スクエア>

NGO協議会が実施した「NGO-JICA協議会」意見交流会議にオンラインで出席した。

<5月23日(日) 於:たきかわ観光国際スクエア>

北海道NGOネットワーク協議会の総会にオンラインで出席した。

<5月29日(土) 於:たきかわ観光国際スクエア>

RCE北海道道央圏の総会にオンラインで出席した。(出席数不足により、後日再度実施となった)

<6月3日(木) 於:たきかわ観光国際スクエア>

NGO協議会とJICAの協議会にオンラインで出席した。

<6月3日(木) 於:たきかわ観光国際スクエア>

文化庁地域日本語教育スタートアッププログラムオリエンテーションにオンラインで出席した。

<6月8日(火) 於:滝川市立開西中学校>

滝川市立開西中学校の総合学習のポスターセッションに出席した。

<6月19日(土) 於:たきかわ観光国際スクエア>

浜松市日本語教室(Webセミナー)が開催した、外国人のための「日本語教育セミナー」にオンラインにて参加した。

<6月23日(水) 於:たきかわ観光国際スクエア>

文化庁事業の実施に当たり、アドバイザーを交えてZOOM会議を実施し、事業計画書の作成に向けた日本語教育スタートアッププログラム(キックオフ会議)をオンラインで行った。

<6月29日(火) 於:たきかわ観光国際スクエア>

日本語教育や外国人人材の受入れの関係からキャリアバンクが主催した、厚生労働省「令和3年度外国人留学生 サポート事業」にオンラインで出席した。

- <7月1日(木) 於：たきかわ観光国際スクエア>
HIECCが主催する「令和3年度多文化共生ネットワーク連携推進協議会」にオンラインで出席した。
- <7月4日(日) 於：たきかわ観光国際スクエア>
RCE北海道央圏の総会にオンラインで出席した。
- <7月7日(水) 於：深川市拓殖大学北海道短期大学>
JICA北海道 石丸所長が講師として拓殖短大で行った講演会に出席した。J I A C事業を紹介する場面で、本協会が手掛けている案件を紹介いただいた。
- <7月14日(水) 於：たきかわ観光国際スクエア>
CLAIR主催の「多文化共生社会」セミナーにオンラインで参加した。
- <7月17日(土) 於：たきかわ観光国際スクエア>
日本語教育学会が主催する日本語教育に関するシンポジウム及びグループセッションにオンラインで参加した。
- <7月27日(火) 於：たきかわ観光国際スクエア>
北海道総合政策部が主催する「第1回多文化共生スキルアップワークショップ」にオンラインで参加した。
- <7月30日(金) 於：札幌市JICA北海道>
モンゴル国で実施している「草の根」事業の状況報告、及び事業推進についての打ち合わせを行った。
- <7月31日(土) 於：たきかわ観光国際スクエア>
オンラインでの学生交流の様子を参考にするために「ロサンゼルス・名古屋学生交流 再会2021」イベントに参加した。
- <8月6日(金) 於：たきかわ観光国際スクエア>
cornerstoneを使った研修事業業務(JICA-VAN)「JICA研修事業向け研修会」についての研修をオンラインで受講した。
- <9月7日(火) 於：たきかわ観光国際スクエア>
在日ブラジル生まれの日系二世の斎藤氏を講師に、国内の日系社会の現状・課題などを主題としたJICA「多文化共生・日本社会を考える」セミナーにオンラインで参加した。
- <9月9日(木) 於：たきかわ観光国際スクエア>
北海道国際課が主催する「やさしい日本語のコミュニケーション手法」スキルアップセミナーにオンラインで参加した。
- <9月15日(水) 於：秩父別町>
「日本語教育スタートアッププログラム」で検討委員をさせていただいている式部氏の「日本語教育」セミナーに参加した。
- <9月18日(土) 於：たきかわ観光国際スクエア>
北海道NGOネットワーク協議会が主催する「北海道国際協力フェスタ2021」の実行委員会にオンラインで参加した。
- <9月24日(金) 於：たきかわ観光国際スクエア>
文化庁主催の事業「日本語教育スタートアッププログラム」第1回コーディネータ会議にオンラインで参加した。
- <10月15日(金) 於：たきかわ観光国際スクエア>
JICA・モンゴル日本人材開発センター共催の「モンゴル高度人材活用セミナー」にオンラインで参加した。
- <10月21日(木) 於：たきかわ観光国際スクエア>
文化庁主催の「日本語空白地域協議会」にオンラインで参加した。
- <10月26日(火) 於：札幌市>
日本語教育講演会の打ち合わせのため、北海道日本語教育センター理事阿部氏と講演会の内容について打合せを実施。あわせて、JICA北海道及びJICE北海道支所にて事業推進のため情報交換を行っ

- た。
- <11月6日(土) 於:たきかわ観光国際スクエア>
日本語教育支援ネットワーク会議2021in 青森 にオンラインで参加した。
 - <11月11日(木) 於:たきかわ観光国際スクエア>
文化庁主催 「市町村との連携を意識した日本語教育の総合的な体制づくりの展開」にオンラインで参加した。
 - <11月18日(木) 於:たきかわ観光国際スクエア>
CLAIR主催 「多文化共生シンポジウム」にオンラインで参加した。
 - <11月19日(金) 於:たきかわ観光国際スクエア>
令和3年度地域国際化連絡会議(北海道・東北ブロック)にオンラインで参加した。
 - <11月19日(金) 於:東京>
事業打合せのため、JICA国内事業部・JICE本部を訪問、両団体の関係者と情報共有を行った。
 - <11月22日(月) 於:東京>
事業打合せのため、スカンジナビア・ニッポンササカワ財団を訪問、財団関係者と情報共有を行った。
 - <11月26日(金) 於:たきかわ観光国際スクエア>
JICA主催 『多文化共生・日本社会を考える』セミナーにオンラインで参加した。
 - <12月9日(木) 於:たきかわ観光国際スクエア>
令和3年度多文化共生の担い手連携促進研修会(CLAIR主催)にオンラインで参加した。
 - <1月11日(火) 於:たきかわ観光国際スクエア>
北海道主催 令和3年度第4回地域スキルアップワークショップにオンラインで参加した。
 - <1月18日(火) 於:たきかわ観光国際スクエア>
文化庁事業の実施に当たり、アドバイザーを交えて第2回アドバイザー会議を開催し、今年度の活動についての報告を実施し、成果と課題を確認した。ZOOMでの会議となった。
 - <1月24日(月) 於:たきかわ観光国際スクエア>
文化庁主催 「日本語教室開設に向けた研究協議会」にオンラインで参加した。
 - <1月24日(月) 於:たきかわ観光国際スクエア>
NGO協議会が実施した「NGO-JICA協議会」意見交流会議にオンラインで出席した。
 - <2月2日(水) 於:たきかわ観光国際スクエア>
HIECC主催 多文化共生ネットワーク連携推進協議会にオンラインで参加した。
 - <2月9日(水) 於:たきかわ観光国際スクエア>
JICA-Netマルチメディア教材作成のため、JICA・電通とオンラインで打合せを行なった。
 - <2月15日(火) 於:たきかわ観光国際スクエア>
文化庁 日本語学習サイト「つながるひろがる日本語での暮らし」オンライン活用法講座にオンラインで参加した。
 - <2月16日(水) 於:たきかわ観光国際スクエア>
HIECCと災害時の外国人支援についてのありかたについてオンラインで意見交換を行った。
(今後、北海道とHIECCが災害時における外国人支援に関し、協定締結を予定しており、多文化共生ネットワーク連携推進協議会全体での体制づくりを整備する予定)
 - <2月17日(木) 於:たきかわ観光国際スクエア>
JICEと3月12日受入のJENESYS事業についてオンラインで打合せを行なった。
 - <2月17日(木) 於:たきかわ観光国際スクエア>
北海道主催 SDGs×北海道セミナー2022にオンラインで参加した。
 - <3月 8日(火) 於:たきかわ観光国際スクエア>
北海道主催 令和3年度第6回地域スキルアップワークショップにオンラインで参加した。
 - <3月10日(木) 於:たきかわ観光国際スクエア>
JICAオンライン・セミナー「多文化共生・日本社会を考える」第7回「FIの街・鈴鹿と多文化共

生社会 - 4輪で支えて多様性を豊かさに-」にオンラインで参加した。

<3月30日(水) 於:たきかわ観光国際スクエア>

HIECC主催 「北海道在住外国人緊急支援プロジェクト報告会」にオンラインで参加した。

⑤ 協会視察・事業紹介等

<4月19日(月) 於:たきかわ観光国際スクエア>

美唄市地域おこし協力隊 ジェームス氏が美唄市実施の事業について情報収集に来訪され、意見交換を行った。

<4月20日(火) 於:たきかわ観光国際スクエア>

滝川市立開西中学校 富樫教諭が、総合的な探求の時間(滝川と国際化)の実施について、情報収集に来訪され、意見交換を行い、単元指導案の作成に協力した。

<5月10日(月) 於:滝川市立開西中学校>

滝川市立開西中学校の総合学習において、国際交流及び滝川国際交流協会について説明した。

<8月16日(月) 於:たきかわ観光国際スクエア>

JICA帯広事務所からの依頼(仲介)があり、今後モンゴル国に進出を計画している キューホー株式会社に対して、オンライン会議でモンゴル国の情報提供を行った。

<9月14日(火) 於:たきかわ観光国際スクエア>

北海道大学で多文化共生、日本語支援の研究をしている式部氏が、本協会の取り組み状況の聞き取り調査に来所された。

<10月 於:たきかわ観光国際スクエア>

東京外国語大学言語文化学部生への卒業論文への協力を行った。

<11月11日(木) 於:たきかわ観光国際スクエア>

JICA北海道阿部氏・羽田野氏が、草の根事業の1年目の状況を調査確認のため来所された。同時に、草の根事業のコーディネータ、ガンチメグへのインタビュー撮影が行われた。

<12月4日(土)・5日(日) 於:たきかわ観光国際スクエア>

北海道国際協力フェスタ2021にオンラインで参加した。

<12月14日(火) 於:たきかわ観光国際スクエア>

JICA北海道のOJT活動に対して、滝川国際交流協会の事業全般及びモンゴルでの事業紹介を行った。

<12月15日(水) 於:たきかわ観光国際スクエア>

文化庁による事業実地調査「地域日本語スタートアップ事業」がオンラインで行われた。

事業の状況については、ほぼ計画通りに実施されているとの評価を得た。

<12月16日(木) 於:たきかわ観光国際スクエア>

CLAIRからの依頼で、ガンチメグへのインタビュー「草の根事業」がオンラインで実施され、事業の進捗状況などの紹介を行なった。

<12月17日(金) 於:たきかわ観光国際スクエア>

草の根事業の専門家を担当している岡本氏が来所され、事業打合せを行なった。

<12月21日(火) 於:たきかわ観光国際スクエア>

文化庁主催の「地域日本語スタートアップ事業」報告会会議にオンラインで参加し、事業紹介を行った。

<1月17日(月) 於:たきかわ観光国際スクエア>

JICAから草の根事業へのインタビューを受け、内容がJICAのホームページに掲載された。

掲載HP → https://www.jica.go.jp/sapporo/topics/2021/20220114_2.html

<1月29日(土) 於:たきかわ観光国際スクエア>

第1回地域日本語教育シンポジウムに参加し、事業紹介を行った。

<2月2日(水) 於:たきかわ観光国際スクエア>

CLAIR市民国際プラザ主催の地域国際化ステップアップセミナーにオンラインで参加し、事例紹介を行った。

発表事例 「国際協力の先に見据える経済面での繋がり

～北海道滝川発、モンゴルのアグリビジネス振興プロジェクト」

<2月21日(月)22日(火) 於:たきかわ観光国際スクエア他>

JICA—Netマルチメディア教材作成のため、(株)ポケット廣瀬氏 他3名が来所され、撮影が行われた。

2. 組織の強化並びに会員の加入促進

① 事務局組織の整備

効率的な事務処理並びに、コロナ禍及びポストコロナ時代における事業に対応しつつ会員の協会事業への積極的な参加を目指して、事務局機能の充実を図る。

② 地域住民と協働した組織体制の確立

通訳ボランティアや日本語ボランティア、イベントボランティア、ホストファミリー等の組織化を図り、地域住民を主体とした事業展開ができる体制を確立する。

③ 会員対象事業の充実

会員を対象とした事業を実施することにより国際化の深化を図り、個人会員加入を促進する。また、企業・団体、周辺自治体等と当協会事業の周知、連携を図り、より一層団体会員の増強を図る。

滝川国際交流協会の新聞・テレビ等での事業紹介・・・42回

3. 会議

① 理事会

○ 第1回理事会

日時:4月22日(木)

場所:たきかわ観光国際スクエア 3階会議室

議事:令和3年度通常総会提出議案について

○ 第2回理事会

日時:6月24日(木)

場所:新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面決議

議事:役員選出について

○ 第3回理事会

日時:11月25日(木)

場所:たきかわ観光国際スクエア 3階会議室

議事:令和3年度事業中間報告(10月末現在)

令和3年度会計中間報告(10月末現在)

今後の事業について

○ 第4回理事会

日時:3月25日(金)

場所:たきかわ観光国際スクエア 3階会議室

議事:令和3年度事業中間報告(2月末現在)

令和3年度会計中間報告(2月末現在)

令和4年度事業計画(案)について

令和4年度事業予算(案)について

今後の日程について

② 役員会

○ 第1回三役会

日時:11月17日(水)

場所:たきかわ観光国際スクエア 3階会議室

議事:令和3年度事業中間報告(10月末現在)

令和3年度会計中間報告（10月末現在）

今後の事業について

令和2年度第3回理事会提出議案について

○ 第2回三役会

日時：3月22日（火）

場所：たきかわ観光国際スクエア 3階会議室

議事：第4回理事会議案について

③ 通常総会

日時：6月24日（木）

場所：たきかわ観光国際スクエア 3階会議室

出席者：121名（うち委任状107名）

議事：（1）報告第1号 令和2年度事業報告について

（2）認定第1号 令和2年度収支決算報告について

（3）報告第2号 令和2年度会計監査報告について

（4）議案第1号 令和3年度事業計画（案）について

（5）議案第2号 経費の負担（案）について

（6）議案第3号 令和3年度予算（案）について

（7）選任第1号 理事の選任について

※5月27日開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、日程を変更して実施

IV その他

1. 寄付等

<4月14日（水） たきかわ観光国際スクエア>

北洋砂利株式会社様から、地域・国際貢献として、地域貢献資金の寄付を受けた。

<5月18日（火） たきかわ観光国際スクエア>

株式会社石山組様から、地域・国際貢献として、地域貢献資金の寄付を受けた。

<7月15日（木） たきかわ観光国際スクエア>

株式会社中山組様から、地域・国際貢献として、地域貢献資金の寄付を受けた。

<7月27日（火） たきかわ観光国際スクエア>

平井建設工業株式会社様から、地域・国際貢献として、地域貢献資金の寄付を受けた。

<10月13日（水） たきかわ観光国際スクエア>

極東建設株式会社様から、地域・国際貢献として、地域貢献資金の寄付を受けた。

<11月10日（水） たきかわ観光国際スクエア>

富岡産業株式会社様から、地域・国際貢献として、地域貢献資金の寄付を受けた。

<12月 1日（水） たきかわ観光国際スクエア>

中本土建株式会社様から、地域・国際貢献として、地域貢献資金の寄付を受けた。

※ モンゴルへの寄付行為

<9月10日（金） トゥブ県ジャルガラント村（モンゴル国）>

草の根事業のカウンターパートであるジャルガラント村に対して衛生用品及び村役場延焼への復興資金として、各企業からの国際貢献基金の一部と協会から寄付を行った。

<村長並びに議長からお礼の言葉>

「大感謝の気持ちを是非日本の皆さんに伝えてください、来年お会いできることを楽しみにしています。皆さんもコロナに負けないように、お気をつけください」

1. 滝川国際交流協会30周年記念誌の発行

COVID-19の感染拡大等の影響により、一年延期して協会創立30周年記念事業を計画したが、現在も実施できる状況には程遠いため、記念事業の開催を断念し、これまでの協会の活動をまとめて記念誌を発行した。（3月）

貸借対照表

令和 4年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,541,001	12,710,563	△ 4,169,562
未収金	412,000	327,786	84,214
前払金	0	3,000	△ 3,000
仮払金	80,127	1,610,904	△ 1,530,777
流動資産合計	9,033,128	14,652,253	△ 5,619,125
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	0	5,000,000	△ 5,000,000
基本財産合計	0	5,000,000	△ 5,000,000
(2) 特定資産			
国際交流国際協力推進基金	0	1,500,000	△ 1,500,000
特定資産合計	0	1,500,000	△ 1,500,000
(3) その他固定資産			
什器備品	1,300	1,300	0
事業・運営調整積立金	48,000,000	30,000,000	18,000,000
その他固定資産合計	48,001,300	30,001,300	18,000,000
固定資産合計	48,001,300	36,501,300	11,500,000
資産合計	57,034,428	51,153,553	5,880,875
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,154,184	3,868,836	△ 714,652
前受金	827,000	1,061,659	△ 234,659
預り金	889,240	191,604	697,636
流動負債合計	4,870,424	5,122,099	△ 251,675
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	4,870,424	5,122,099	△ 251,675
III 正味財産の部			
1. 基金			
2. 指定正味財産			
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	52,164,004	46,031,454	6,132,550
一般正味財産合計	52,164,004	46,031,454	6,132,550
正味財産合計	52,164,004	46,031,454	6,132,550
負債及び正味財産合計	57,034,428	51,153,553	5,880,875

貸借対照表内訳表

令和 4年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	継続事業	その他事業	法人会計	内部取引等消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	16,745,434	24,760,655	△ 32,965,088	0	8,541,001
未収金	412,000	0	0	0	412,000
他会計短期貸付金	0	0	19,376,260	△ 19,376,260	0
仮払金	0	80,127	0	0	80,127
流動資産合計	17,157,434	24,840,782	△ 13,588,828	△ 19,376,260	9,033,128
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金	5,000,000	0	△ 5,000,000	0	0
基本財産合計	5,000,000	0	△ 5,000,000	0	0
(2) 特定資産					
国際交流国際協力推進基金	1,500,000	0	△ 1,500,000	0	0
特定資産合計	1,500,000	0	△ 1,500,000	0	0
(3) その他固定資産					
什器備品	0	0	1,300	0	1,300
事業・運営調整積立金	0	0	48,000,000	0	48,000,000
その他固定資産合計	0	0	48,001,300	0	48,001,300
固定資産合計	6,500,000	0	41,501,300	0	48,001,300
資産合計	23,657,434	24,840,782	27,912,472	△ 19,376,260	57,034,428
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	1,123,887	10,162	2,020,135	0	3,154,184
前受金	10,000	532,015	284,985	0	827,000
預り金	779,502	0	109,738	0	889,240
他会計短期借入金	14,586,945	4,789,315	0	△ 19,376,260	0
流動負債合計	16,500,334	5,331,492	2,414,858	△ 19,376,260	4,870,424
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0	0	0
負債合計	16,500,334	5,331,492	2,414,858	△ 19,376,260	4,870,424
III 正味財産の部					
1. 基金					
2. 指定正味財産					
3. 一般正味財産					
(1) 代替基金	0	0	0	0	0
(2) その他一般正味財産	7,157,100	19,509,290	25,497,614	0	52,164,004
一般正味財産合計	7,157,100	19,509,290	25,497,614	0	52,164,004
正味財産合計	7,157,100	19,509,290	25,497,614	0	52,164,004
負債及び正味財産合計	23,657,434	24,840,782	27,912,472	△ 19,376,260	57,034,428

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日 から令和 4年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費・個人	333,000	351,000	△ 18,000
正会員受取会費・団体	790,000	820,000	△ 30,000
賛助会員受取会費・個人	393,000	423,000	△ 30,000
賛助会員受取会費・団体	80,000	90,000	△ 10,000
受取会費計	1,596,000	1,684,000	△ 88,000
事業収益			
自主事業収益	1,121,975	1,457,660	△ 335,685
受託事業収益	52,963,619	18,469,081	34,494,538
事業収益計	54,085,594	19,926,741	34,158,853
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	3,450,000	3,450,000	0
受取国庫助成金	0	2,000,000	△ 2,000,000
受取地方公共団体助成金	0	50,000	△ 50,000
受取補助金等計	3,450,000	5,500,000	△ 2,050,000
受取寄付金			
受取寄付金	760,000	100,000	660,000
雑収益			
受取利息	1,379	5,214	△ 3,835
雑収益	1,094,209	1,865,800	△ 771,591
雑収益計	1,095,588	1,871,014	△ 775,426
経常収益計	60,987,182	29,081,755	31,905,427
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	8,804,889	8,023,529	781,360
福利厚生費	1,326,693	1,221,149	105,544
旅費交通費	2,371,447	685,440	1,686,007
通信運搬費	1,491,210	331,178	1,160,032
消耗品費	1,050,591	684,479	366,112
広告宣伝費	101,146	211,664	△ 110,518
燃料費	219,881	93,895	125,986
光熱水料費	0	36,800	△ 36,800
使用料及び賃借料	1,370,240	1,082,165	288,075
保険料	290,341	19,426	270,915
諸謝金	19,975,440	9,057,285	10,918,155
租税公課	41,700	31,050	10,650
支払負担金	25,748	16,072	9,676
支払寄付金	92,404	0	92,404
委託費	2,068,177	1,695,562	372,615
会議費	19,460	22,680	△ 3,220
支払手数料	95,342	96,126	△ 784
資材費	9,817,083	7,262,196	2,554,887
食糧費	166,633	127,235	39,398
印刷製本費	319,475	126,052	193,423
雑費	0	6,250	△ 6,250
事業費計	49,647,900	30,830,233	18,817,667
管理費			
給料手当・賞与	1,728,766	1,576,978	151,788
福利厚生費	259,668	241,063	18,605
会議費	53,200	18,700	34,500
交際費	44,064	76,693	△ 32,629
通信運搬費	94,967	48,577	46,390
減価償却費	0	1,290	△ 1,290
消耗品費	54,735	61,452	△ 6,717
印刷製本費	2,766	38,681	△ 35,915
燃料費	0	1,406	△ 1,406
光熱水料費	0	9,200	△ 9,200
賃借料	112,060	103,320	8,740
保険料	107,484	114,984	△ 7,500
諸謝金	41,500	27,500	14,000
租税公課	2,497,850	3,162,000	△ 664,150
負担金	176,534	196,152	△ 19,618
支払手数料	33,138	16,566	16,572
雑費	0	5,625	△ 5,625
管理費計	5,206,732	5,700,187	△ 493,455
経常費用計	54,854,632	36,530,420	18,324,212
評価損益等調整前当期経常増減額	6,132,550	△ 7,448,665	13,581,215
当期経常増減額	6,132,550	△ 7,448,665	13,581,215
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	6,132,550	△ 7,448,665	15,591,815
当期一般正味財産増減額	6,132,550	△ 7,448,665	15,591,815
一般正味財産期首残高	46,031,454	53,480,119	△ 7,448,665
一般正味財産期末残高	52,164,004	46,031,454	6,132,550
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
基金受入額	0	0	0
基金返還額	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	52,164,004	46,031,454	6,132,550

正味財産増減計算書内訳表

令和 3年 4月 1日 から令和 4年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	継続事業	その他事業	法人会計	内部取引等消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費					
正会員受取会費・個人	0	0	333,000	0	333,000
正会員受取会費・団体	0	0	790,000	0	790,000
賛助会員受取会費・個人	0	0	393,000	0	393,000
賛助会員受取会費・団体	0	0	80,000	0	80,000
受取会費計	0	0	1,596,000	0	1,596,000
事業収益					
自主事業収益	0	1,121,975	0	0	1,121,975
受託事業収益	17,396,738	35,566,881	0	0	52,963,619
事業収益計	17,396,738	36,688,856	0	0	54,085,594
受取補助金等					
受取地方公共団体補助金	0	0	3,450,000	0	3,450,000
受取寄付金					
受取寄付金	0	100,000	660,000	0	760,000
雑収益					
受取利息	0	0	1,379	0	1,379
雑収益	189,243	0	904,966	0	1,094,209
雑収益計	189,243	0	906,345	0	1,095,588
経常収益計	17,585,981	36,788,856	6,612,345	0	60,987,182
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当	6,634,653	2,170,236	0	0	8,804,889
福利厚生費	999,096	327,597	0	0	1,326,693
旅費交通費	623,725	1,747,722	0	0	2,371,447
通信運搬費	122,970	1,323,827	44,413	0	1,491,210
消耗品費	113,429	937,162	0	0	1,050,591
広告宣伝費	55,950	45,196	0	0	101,146
燃料費	0	219,881	0	0	219,881
使用料及び賃借料	382,800	987,440	0	0	1,370,240
保険料	2,620	287,721	0	0	290,341
諸謝金	12,138,841	7,836,599	0	0	19,975,440
租税公課	41,700	0	0	0	41,700
支払負担金	11,800	13,948	0	0	25,748
支払寄付金	0	92,404	0	0	92,404
委託費	975,700	1,092,477	0	0	2,068,177
会議費	13,260	6,200	0	0	19,460
支払手数料	24,932	70,410	0	0	95,342
資材費	0	9,817,083	0	0	9,817,083
食糧費	41,178	125,455	0	0	166,633
印刷製本費	72,170	5,305	242,000	0	319,475
事業費計	22,254,824	27,106,663	286,413	0	49,647,900
管理費					
給料手当・賞与	0	0	1,728,766	0	1,728,766
福利厚生費	0	0	259,668	0	259,668
会議費	0	0	53,200	0	53,200
交際費	0	0	44,064	0	44,064
通信運搬費	0	0	94,967	0	94,967
消耗品費	0	0	54,735	0	54,735
印刷製本費	0	0	2,766	0	2,766
賃借料	0	0	112,060	0	112,060
保険料	0	0	107,484	0	107,484
諸謝金	0	0	41,500	0	41,500
租税公課	0	0	2,497,850	0	2,497,850
負担金	0	0	176,534	0	176,534
支払手数料	0	0	33,138	0	33,138
管理費計	0	0	5,206,732	0	5,206,732
経常費用計	22,254,824	27,106,663	5,493,145	0	54,854,632
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,668,843	9,682,193	1,119,200	0	6,132,550
当期経常増減額	△ 4,668,843	9,682,193	1,119,200	0	6,132,550
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 4,668,843	9,682,193	1,119,200	0	6,132,550
税引前当期一般正味財産増減額	△ 4,668,843	9,682,193	1,119,200	0	6,132,550
当期一般正味財産増減額	△ 4,668,843	9,682,193	1,119,200	0	6,132,550
一般正味財産期首残高	920,373	21,349,475	23,761,606	0	46,031,454
一般正味財産期末残高	△ 3,748,470	31,031,668	24,880,806	0	52,164,004
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 基金増減の部					
基金受入額	0	0	0	0	0
基金返還額	0	0	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0	0	0
基金期首残高	0	0	0	0	0
基金期末残高	0	0	0	0	0
IV 正味財産期末残高	△ 3,748,470	31,031,668	24,880,806	0	52,164,004

財 産 目 録
令和 4年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手持ち資金	管理運営	27,990
	当座預金	ゆうちょ銀行	管理運営	475,106
	普通預金	北洋銀行	管理運営	3,084,919
		北門信用金庫	同上	726,691
		北海道銀行	同上	1,109,864
		JAたきかわ	同上	82,856
		北空知信用金庫	同上	107,193
		空知商工信用組合	同上	27,759
		北門信用金庫	その他事業	2,898,623
	未収金	一財) 国際協力センター	継続事業	412,000
	仮払金	モンゴル国送金分(草の根)	その他事業	80,127
流動資産合計				9,033,128
(固定資産) その他固定資産				
	什器備品	パソコン、プロジェクター等	管理運営	1,300
	事業・運営調整積立金	北門信用金庫	管理運営	16,000,000
		北海道銀行	同上	8,000,000
		北空知信用金庫	同上	8,000,000
		空知商工信用組合	同上	8,000,000
		JAたきかわ	同上	8,000,000
固定資産合計				48,001,300
資産合計				57,034,428
(流動負債)				
	未払金	白樺映像製作所 他	継続事業	1,143,584
		消費税	管理運営	2,010,600
	前受金	年会費、受講料	管理運営、その他事業	827,000
	預り金	社会保険料、所得税	管理運営	889,240
流動負債合計				4,870,424
固定負債合計				0
負債合計				4,870,424
正味財産				52,164,004

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続事業の前提に関する重要な疑義は存在していません

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定委員会)を採用しています
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当事項はありません
- (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当事項はありません
- (4) 固定資産の減価償却の方法
什器備品の減価償却は、直接法・定率法によって行っております
- (5) 引当金の計上基準
該当事項はありません
- (6) 消費税等の会計処理
税込方式により行っております

3. 会計方針の変更

該当事項はありません

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	5,000,000	0
小 計	5,000,000	0	5,000,000	0
特定資産				
国際交流国際協力推進基金	1,500,000	0	1,500,000	0
小 計	1,500,000	0	1,500,000	0
合 計	6,500,000	0	6,500,000	0

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち基金からの 充当額)	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産					
定期預金	0	0	0	0	—
小 計	0	0	0	0	—
特定資産					
国際交流国際協 力推進基金	0	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0

6. 担保に供している資産

該当事項はありません

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	328,811	327,511	1,300

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
なし			

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当事項はありません

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。

(単位：円)

内 容	金 額
該当事項はありません。	

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
滝川国際交流協会補助金	滝川市	0	3,450,000	3,450,000	0
雇用調整助成金	厚生労働省	0	534,774	534,774	0
合 計		0	3,984,774	3,987,447	0

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金				
基金計	0	0	0	0
代替基金				
代替基金計	0	0	—	0
合 計	0	0	0	0

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

内 容	金 額
該当事項はありません	

14. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりです。

(単位：円)

内 容	金 額
該当事項はありません	

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりです。

前期末		当期末	
現金預金勘定	12,710,563 円	現金預金勘定	8,541,001 円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	36,500,000 円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	48,000,000 円
公社債投資信託等振替額	円	公社債投資信託等振替額	円
現金及び現金同等物	49,210,563 円	現金及び現金同等物	56,541,001 円

(2) 重要な非資金取引は、以下のとおりです。

前期末	当期末
該当事項はありません	

16. 重要な後発事象

該当事項はありません

17. その他

該当事項はありません

附 属 明 細 書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	5,000,000	0	5,000,000	0
	基本財産計	5,000,000	0	5,000,000	0
特定資産	国際交流国際協力推進基金	1,500,000	0	1,500,000	0
	特定資産計	1,500,000	0	1,500,000	0
その他固定資産	什器備品	1,300	0	0	1,300
	事業・運営調整積立金	30,000,000	18,000,000	0	48,000,000
	その他固定資産計	30,001,300	18,000,000	0	48,001,300

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
なし					

令和3年度事業別収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	本年度予算額	決算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①会費収入	1,790,000	1,596,000	194,000	
②補助金等収入	3,450,000	3,450,000	0	
・地方公共団体補助金	3,450,000	3,450,000	0	滝川市補助金
③負担金収入	2,501,000	1,121,975	1,379,025	
・ジュニア大使訪問団派遣事業参加者負担金	0	0	0	
・スタディツアー参加者負担金	809,000	0	809,000	
・語学講座受講者負担金	1,692,000	1,121,975	570,025	
・その他負担金	0	0	0	
④事業収入	35,200,000	52,963,619	△ 17,763,619	
・JICAアフリカ地域課題別研修コース事業	4,500,000	16,984,738	△ 12,484,738	本年度2回実施
・JICAモンゴリアンビーク国別研修コース事業	4,500,000	0	4,500,000	
・JICAモンゴル草の根技術協力事業	20,000,000	33,452,000	△ 13,452,000	
・自治体職員～(LGOTP)モンゴル国建設技術研修員受入事業	4,000,000	0	4,000,000	
・英語検定事業	2,200,000	2,114,881	85,119	
・その他受託事業	0	412,000	△ 412,000	
⑤雑収入	205,000	1,855,588	△ 1,650,588	
・その他寄付金収入	0	760,000	△ 760,000	
・受取利息	5,000	1,379	3,621	
・その他雑収入	200,000	1,094,209	△ 894,209	
事業活動収入計	43,146,000	60,987,182	△ 17,841,182	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	35,882,000	39,516,318	△ 3,634,318	
○国際交流事業費	1,170,000	561,717	608,283	
・ジュニア大使訪問団派遣事業	0	0	0	
・その他の国際交流事業	1,170,000	561,717	608,283	
○国際協力事業費	7,605,000	13,647,910	△ 6,042,910	
・JICAアフリカ地域課題別研修コース事業	3,435,000	13,311,161	△ 9,876,161	
・JICAモンゴリアンビーク国別研修コース事業	3,570,000	0	3,570,000	
・その他の国際協力事業	600,000	336,749	263,251	
○国際理解事業費	2,864,000	1,092,658	1,771,342	
・語学講座事業	994,000	681,210	312,790	
・スタディツアー事業	1,320,000	1,140	1,318,860	
・その他の国際理解事業	550,000	410,308	139,692	
○調査研究資料提供事業費	24,243,000	24,214,033	28,967	
・英検事業	1,950,000	1,525,358	424,642	
・協会ニュース事業	180,000	114,421	65,579	
・自治体職員～(LGOTP)モンゴル国建設技術研修業務委託事業	2,930,000	0	2,930,000	
・JICAモンゴル草の根技術協力事業	17,520,000	21,972,184	△ 4,452,184	
・協会創立周年事業	1,000,000	286,413	713,587	
・その他の調査研究資料事業	663,000	315,657	347,343	
②管理費支出	16,750,000	15,338,314	1,411,686	
・人件費支出	12,900,000	12,120,016	779,984	
・事務費支出	3,400,000	2,988,564	411,436	
・会議費支出	50,000	53,200	△ 3,200	
・負担金支出	200,000	176,534	23,466	
・雑支出	200,000	0	200,000	
事業活動支出計	52,632,000	54,854,632	△ 2,222,632	
事業活動収支差額(A)	△ 9,486,000	6,132,550	△ 15,618,550	

令和3年度事業別収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	本年度予算額	決 算 額	増 減	備 考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①基本財産取崩収入	5,000,000	5,000,000	0	
・ J Aたきかわ	5,000,000	5,000,000	0	
②特定資産取崩収入	1,500,000	1,500,000	0	
・ 国際交流・国際協力推進基金取崩収入	1,500,000	1,500,000	0	
③固定資産取崩収入	0	0	0	
・ 事業・運営調整積立金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	6,500,000	6,500,000	0	
2. 投資活動支出				
①固定資産取得支出	6,000,000	18,000,000	△ 12,000,000	
・ 事業・運営調整積立金支出	6,000,000	18,000,000	△ 12,000,000	
・ 什器備品購入支出	0	0	0	
投資活動支出計	6,000,000	18,000,000	△ 12,000,000	
投資活動収支差額(B)	500,000	△ 11,500,000	12,000,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
・ 財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
・ 財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額(C)	0	0	0	
IV 予備費支出(D)	544,154	0	544,154	
当期収支差額(A)+(B)+(C)-(D)=(E)	△ 9,530,154	△ 5,367,450	△ 4,162,704	
前期繰越収支差額(F)	9,530,154	9,530,154	0	
次期繰越収支差額(E)+(F)	0	4,162,704	△ 4,162,704	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

現金・預金・未収金・仮払金・未払金・預り金・前受金・前払金を含めております。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金	33,132	27,990
当座預金	396,426	475,106
普通預金	12,281,005	8,037,905
未収金	327,786	412,000
前払金	3,000	0
仮払金	1,610,904	80,127
合 計	14,652,253	9,033,128
未払金	3,868,836	3,154,184
前受金	1,061,659	827,000
預り金	191,604	889,240
合 計	5,122,099	4,870,424
次期繰越収支差額	9,530,154	4,162,704

収支計算書

令和 3年 4月 1日 から令和 4年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 会費収入			
正会員会費収入・個人	360,000	333,000	27,000
正会員会費収入・団体	810,000	790,000	20,000
賛助会員会費収入・個人	540,000	393,000	147,000
賛助会員会費収入・団体	80,000	80,000	0
会費収入計	1,790,000	1,596,000	194,000
② 事業収入			
自主事業収益	2,501,000	1,121,975	1,379,025
受託事業収益	35,200,000	52,963,619	△ 17,763,619
事業収入計	37,701,000	54,085,594	△ 16,384,594
③ 補助金等収入			
地方公共団体補助金収入	3,450,000	3,450,000	0
④ 寄付金収入			
寄付金収入	0	760,000	△ 760,000
⑤ 雑収入			
受取利息収入	5,000	1,379	3,621
雑収入	200,000	1,094,209	△ 894,209
雑収入計	205,000	1,095,588	△ 890,588
事業活動収入計	43,146,000	60,987,182	△ 17,841,182
2. 事業活動支出			
① 事業費支出			
旅費交通費支出	5,920,000	2,371,447	3,548,553
通信運搬費支出	1,295,000	1,491,210	△ 196,210
消耗什器備品費支出	120,000	0	120,000
消耗品費支出	1,629,000	1,050,591	578,409
広告宣伝費支出	255,000	101,146	153,854
燃料費支出	185,000	219,881	△ 34,881
光熱水料費支出	40,000	0	40,000
使用料及び賃借料支出	4,935,000	1,370,240	3,564,760
保険料支出	315,000	290,341	24,659
諸謝金支出	14,605,000	19,975,440	△ 5,370,440
租税公課支出	30,000	41,700	△ 11,700
負担金支出	90,000	25,748	64,252
助成金支出	150,000	0	150,000
寄付金支出	0	92,404	△ 92,404
委託費支出	1,183,000	2,068,177	△ 885,177
会議費支出	50,000	19,460	30,540
支払手数料支出	120,000	95,342	24,658
資材費支出	4,315,000	9,817,083	△ 5,502,083
食糧費支出	205,000	166,633	38,367
研修受入費	90,000	0	90,000
印刷製本費	350,000	319,475	30,525
事業費支出計	35,882,000	39,516,318	△ 3,634,318
② 管理費支出			
給料手当支出	11,100,000	10,533,655	566,345
福利厚生費支出	1,800,000	1,586,361	213,639
会議費支出	50,000	53,200	△ 3,200
交際費支出	70,000	44,064	25,936
通信運搬費支出	50,000	94,967	△ 44,967
消耗品費支出	100,000	54,735	45,265
印刷製本費支出	30,000	2,766	27,234
光熱水料費支出	10,000	0	10,000
賃借料支出	100,000	112,060	△ 12,060
保険料支出	0	107,484	△ 107,484
諸謝金支出	20,000	41,500	△ 21,500
租税公課支出	3,000,000	2,497,850	502,150
負担金支出	200,000	176,534	23,466
支払手数料支出	20,000	33,138	△ 13,138
雑支出	200,000	0	200,000
管理費支出計	16,750,000	15,338,314	1,411,686
事業活動支出計	52,632,000	54,854,632	△ 2,222,632
事業活動収支差額	△ 9,486,000	6,132,550	△ 15,618,550
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
① 基本財産取崩収入			
定期預金	0	5,000,000	△ 5,000,000
基本財産取崩収入計	5,000,000	5,000,000	0
② 特定資産取崩収入			
国際交流国際協力推進基金	1,500,000	1,500,000	0
投資活動収入計	6,500,000	6,500,000	0
2. 投資活動支出			
① 固定資産取得支出			
事業・運営調整積立金	6,000,000	18,000,000	△ 12,000,000
投資活動支出計	6,000,000	18,000,000	△ 12,000,000
投資活動収支差額	500,000	△ 11,500,000	12,000,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
予備費支出	544,154	—	544,154
当期収支差額	△ 9,530,154	△ 5,367,450	△ 4,162,704
前期繰越収支差額	9,530,154	9,530,154	0
次期繰越収支差額	0	4,162,704	△ 4,162,704

収支計算書総括表

令和 3年 4月 1日 から令和 4年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	継続事業	その他事業	法人会計	内部取引等消去	合計
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①会費収入					
正会員会費収入・個人	0	0	333,000	0	333,000
正会員会費収入・団体	0	0	790,000	0	790,000
賛助会員会費収入・個人	0	0	393,000	0	393,000
賛助会員会費収入・団体	0	0	80,000	0	80,000
会費収入計	0	0	1,596,000	0	1,596,000
②事業収入					
自主事業収益	0	1,121,975	0	0	1,121,975
受託事業収益	17,396,738	35,566,881	0	0	52,963,619
事業収入計	17,396,738	36,688,856	0	0	54,085,594
③補助金等収入					
地方公共団体補助金収入	0	0	3,450,000	0	3,450,000
④寄付金収入					
寄付金収入	0	100,000	660,000	0	760,000
⑤雑収入					
受取利息収入	0	0	1,379	0	1,379
雑収入	189,243	0	904,966	0	1,094,209
雑収入計	189,243	0	906,345	0	1,095,588
事業活動収入計	17,585,981	36,788,856	6,612,345	0	60,987,182
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
旅費交通費支出	623,725	1,747,722	0	0	2,371,447
通信運搬費支出	122,970	1,323,827	44,413	0	1,491,210
消耗品費支出	113,429	937,162	0	0	1,050,591
広告宣伝費支出	55,950	45,196	0	0	101,146
燃料費支出	0	219,881	0	0	219,881
使用料及び賃借料支出	382,800	987,440	0	0	1,370,240
保険料支出	2,620	287,721	0	0	290,341
諸謝金支出	12,138,841	7,836,599	0	0	19,975,440
租税公課支出	41,700	0	0	0	41,700
負担金支出	11,800	13,948	0	0	25,748
寄付金支出	0	92,404	0	0	92,404
委託費支出	975,700	1,092,477	0	0	2,068,177
会議費支出	13,260	6,200	0	0	19,460
支払手数料支出	24,932	70,410	0	0	95,342
資材費支出	0	9,817,083	0	0	9,817,083
食糧費支出	41,178	125,455	0	0	166,633
印刷製本費	72,170	5,305	242,000	0	319,475
事業費支出計	14,621,075	24,608,830	286,413	0	39,516,318
②管理費支出					
給料手当支出	0	0	10,533,655	0	10,533,655
福利厚生費支出	0	0	1,586,361	0	1,586,361
会議費支出	0	0	53,200	0	53,200
交際費支出	0	0	44,064	0	44,064
通信運搬費支出	0	0	94,967	0	94,967
消耗品費支出	0	0	54,735	0	54,735
印刷製本費支出	0	0	2,766	0	2,766
賃借料支出	0	0	112,060	0	112,060
保険料支出	0	0	107,484	0	107,484
諸謝金支出	0	0	41,500	0	41,500
租税公課支出	0	0	2,497,850	0	2,497,850
負担金支出	0	0	176,534	0	176,534
支払手数料支出	0	0	33,138	0	33,138
管理費支出計	0	0	15,338,314	0	15,338,314
事業活動支出計	14,621,075	24,608,830	15,624,727	0	54,854,632
事業活動収支差額	2,964,906	12,180,026	△ 9,012,382	0	6,132,550
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
①基本財産取崩収入					
	0	0	5,000,000	0	5,000,000
②特定資産取崩収入					
国際交流国際協力推進基金	0	0	1,500,000	0	1,500,000
投資活動収入計	0	0	6,500,000	0	6,500,000
2. 投資活動支出					
①固定資産取得支出					
事業・運営調整積立金	0	0	18,000,000	0	18,000,000
投資活動支出計	0	0	18,000,000	0	18,000,000
投資活動収支差額	0	0	△ 11,500,000	0	△ 11,500,000
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
①その他の収入					
他会計借入金収入	174,586	0	0	△ 174,586	0
財務活動収入計	174,586	0	0	△ 174,586	0
2. 財務活動支出					
①その他の支出					
他会計借入金返済支出	174,586	0	0	△ 174,586	0
財務活動支出計	174,586	0	0	△ 174,586	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
当期収支差額	2,964,906	12,180,026	△ 20,512,382	0	△ 5,367,450
前期繰越収支差額	0	0	9,530,154	0	9,530,154
次期繰越収支差額	2,964,906	12,180,026	△ 10,982,228	0	4,162,704

令和4年4月26日

監査報告

一般社団法人 滝川国際交流協会

監事 山本正信 

監事 上田千香子 

監事 小野寺 徹 

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の事業報告、収支決算報告書類、これらの附属明細書、公益目的支出計画実施報告書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で調査を行い、その結果を監事間で協議し、監査を実施いたしました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事及び使用人から、職務及び財産の執行状況等について報告を受け、また、必要に応じて説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当であると認めます。
- (4) 計算書類及びその附属明細書、財産目録は法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- (5) 公益目的支出計画実施報告書は法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しているものと認めます。

3 追記情報

なし

以上

会 員 状 況

令和4年3月31日現在

項目	31年度末 (元年度)		R2年度末		R3年度 新規入会		R3年度 退会会員		R3年度 会員数		
	人数	口数	人数	口数	人数	口数	人数	口数	人数	口数	
正会員		182	203	179	199	6	6	14	15	171	190
	個人	119	119	116	117	5	5	10	11	111	111
	団体	63	84	63	82	1	1	4	4	60	79
賛助会員		197	202	143	150	39	39	45	50	137	139
	個人	187	192	134	141	39	39	44	49	129	131
	団体	10	10	9	9	0	0	1	1	8	8
計	379	405	322	349	45	45	59	65	308	329	

会 費 収 入 状 況

(単位:円)

項目	予算額	調定額	収入済額	収入率(%)
正会員	1,170,000	1,123,000	1,123,000	100.0%
個人	360,000	333,000	333,000	100.0%
企業・団体	810,000	790,000	790,000	100.0%
賛助会員	620,000	473,000	473,000	100.0%
個人	540,000	393,000	393,000	100.0%
企業・団体	80,000	80,000	80,000	100.0%
合計	1,790,000	1,596,000	1,596,000	100.0%

令和4年度（2022年度）事業計画（案）

<推進目標>

1. コロナ禍及びポストコロナ時代における国際交流や国際協力、国際理解のあり方を検討し、実践する。
2. 姉妹都市交流をはじめ、諸外国との交流・協力事業を積極的に推進し、世界と結びついた多文化共生社会や、SDGsを意識し、持続可能な社会の実現を支援する。
3. 多様な事業を通して、グローバル社会に柔軟に対応できる人材を育成し、地域活性化に貢献する。
4. 法人の自立を図るため、より一層の会員加入促進に努め、体制整備を図る。

ウィズ・アフターコロナの対策を講じながら事業推進を行う。また、事務局体制の安定化を図り、事業の見直しや支援のあり方を整理する。

I 継続事業

1. 国際交流事業

- ① 第21回たきかわ紙袋ランターンフェスティバル紙袋ランターン制作体験ワークショップ

<2023年2月 於：滝川市内>

フェスティバル当日のランターン制作体験ワークショップは、毎年好評を博していることから、市内外在住外国人の支援を得て、多文化共生の一助となるよう実施する。

- ② 地域活性化のための外国人受入事業 <随時 於：滝川市内他>

滝川市及び周辺自治体で実施される様々なイベントに市内外在住外国人の参加を募り、多文化共生を推し進め、地域活性化に資する。

- ③ 第30回ジュニア大使訪問団派遣事業 <10月下旬 於：米国スプリングフィールド市他>

ロングメドー高校から、現時点では判断保留との連絡を受けているため実施予定として予算計上する。海外との交流事業の再開が困難な場合は、中高生を対象にした国際交流事業について、代替事業への取り組みを企画する。（派遣予定人数：6名）

【支援事業】

- ① 12回たきかわ納涼盆踊り大会支援事業 <8月上旬 於：未定>

滝川市の国際交流員（CIR）を中心に、市内外在住外国人チームを結成し、国際色豊かな盆踊り大会となるよう支援する。

- ② インターナショナルファンデー <時期未定 於：未定>

滝川市CIRの企画により、季節に合わせた世界各国のゲーム等を実施する。（参加予定人数：50名）

- ③ 短期留学生派遣支援事業

・滝川西高校の交流校であるスウェーデン王国ヴィトフェルスカ高校への短期留学生を支援する。平成29年度開始以来、本年度で4回目を迎える。（派遣予定人数：2名）

<12月上旬（予定） 於：スウェーデン王国ヨーテボリ市>

- ④ 短期留学生受入支援事業 <時期未定 於：滝川市内>

・滝川西高校の交流校であるヴィトフェルスカ高校から短期留学生の受入を支援する。授業参加・ホームステイ・地域交流等により、異文化理解を深める。（受入予定人数：4名）

- ⑤ 国際交流支援事業

・ハロウィンやWinter Fun Dayなどの滝川市や他団体が行う国際交流事業を支援する。

- ⑥ 国際交流支援事業 <時期未定 於：滝川市内>

・滝川高校のSSH及び総合探求に関する授業の実施にあたり、講師派遣やJICA等との連携について

支援する。

2. 国際協力事業

- ① JICA課題別研修「小規模農家のためのアグリビジネス振興（B）」コース研修員受入事業
＜時期未定 於：遠隔研修＞
遠隔による講義配信及びオンライン等による研修として実施する。オンライン交流では、滝川市民との交流場面やオンラインホームビジット等を予定している。（受入予定人数：10名）
- ② 身近なものによる国際協力
古切手、書き損じはがきを収集し、開発途上国の教育・保健医療等の活動支援に役立てる。
- ③ NGO等支援事業
「北海道NGOネットワーク協議会」や、マラウイ共和国等を視察した市民から成る「滝川マラウイクラブ」、アフリカ・ケニア共和国を支援している「山口ケニアを知る会」等、開発途上国を支援しているNGO団体等と連携を図り、国際協力活動への支援を行う。モンゴル国ウブスハンガイ県で活動する「たきかわクラブ」の支援も継続して行う。

3. 国際理解事業

- ① シンガポールスタディツアー <11月上旬 於：シンガポール共和国＞
多民族国家であるシンガポール共和国で様々な民族・宗教の様子を体感し、大きな発展を遂げた同国の現状や多文化共生の過程と実情を知る。大学等や日本から進出している企業等への訪問により、国際的な視野を広め、世界で活躍する人材及び地域の将来を担う人材育成に寄与することを目的として実施する。また、現地での不測の事態に備えて、引率の体制を検討する。（派遣予定人数：高校生8名）
- ② 国際化講演会
「世界を知る講演会」と題し、国際交流・国際協力の第一線で活躍する方や現地で地道に活躍する方を講師招へいし、地域国際化の深化並びに地域活性化のヒントを得るために実施する。＜日時、場所：未定＞
- ③ 国際理解茶話会
JICA青年海外協力隊並びにシニア海外ボランティア募集説明会等で来滝する方々、地域在住外国人などから様々な体験談を伺う交流会を企画し、国際交流や国際協力への理解を深める。
- ④ ボランティア日本語教師、ボランティア通訳及び事業企画運営ボランティア登録・派遣
日本語に不自由を感じている外国人に、日本語を学びながら習慣・文化等を学ぶ機会を提供する他、滝川を訪れる外国人の買い物・飲食等を含めた日常生活の支援、各種懇親会等で円滑にコミュニケーションを図るためのボランティア通訳等の登録・派遣を行う。
- ⑤ ホストファミリー登録・斡旋
滝川を訪れる外国人に日本の文化・伝統を知ってもらおうと共に、家庭の雰囲気を味わってもらうことを目的として、外国人の受入が可能なホストファミリーの登録・斡旋を行う。
- ⑥ インターンシップ生受入
インターンシップ生を受け入れ、協会業務に携わってもらうことで、国際社会に貢献し、地域の将来を担う人材育成に寄与する。また、地域に根差した協会の実現を図る一助とする。
- ⑦ 多文化共生社会への取り組み
地域における多文化共生社会を推進させるため、外国人人材と住民交流の実践を検討する。
- ⑧ SDGs推進への活動
協会事業とSDGsの関わりを積極的に広報し、SDGsの推進に協力する。

【支援事業】

- ① 国際理解教育支援事業
・国際理解教育等関連資料の貸し出し
学校教育等に必要となる各種資料を随時貸し出す。

- ・地域高等教育機関等との連携による国際理解教育の推進

國學院大學北海道短期大学部、一般社団法人中空知地域職業訓練センター協会等の高等教育機関や地域のサークル等と連携して、地域における国際理解教育を推進し、国際交流・国際協力の裾野を広げること、世界で通用する人材を育成する。

II その他事業

I. 国際理解事業

① TIEA語学教室

<春・夏(4月～9月)、秋・冬(10月～3月)>

於：街なかひろばく・る・る、たきかわ観光国際スクエア>

【1期＝1回50分(ア：1回25分 オ：1回30分)×12回】

ア 韓国語文字(月曜日：10名)

イ 韓国語実用表現A(月曜日：10名)

ウ 韓国語実用表現B(月曜日：10名)

エ 韓国語上級(月曜日：10名)

オ キッズイングリッシュ(小学1・2年生)(火曜日：10名)

カ キッズイングリッシュ(小学3・4年生)(火曜日：10名)

キ キッズイングリッシュ(小学5・6年生)(火曜日：10名)

ク 英会話初級(火曜日：10名)

ケ 英会話中級(木曜日：10名)

コ 英会話上級(水曜日：10名)

② 2022年度「実用英語技能検定」試験実施事業

公益財団法人日本英語検定協会が年3回(各回とも1次試験、2次試験)実施する「実用英語技能検定試験」を受託し、実施する。

実施日：第1回 1次：6月5日(日) 2次：7月3日(日)、7月10日(日)

第2回 1次：10月9日(日) 2次：11月6日(日)、11月13日(日)

第3回 1次：1月22日(日) 2次：2月19日(日)、2月26日(日)

③ 地域日本語教育スタートアッププログラム事業(2年目)

文化庁が実施する当該事業に採択された。日本語教育の必要性や外国人の実情をふまえるために、昨年度実施した実態調査を受けて、本年度から日本語教育を試行する。

昨年度市内の企業を訪問した結果から、多様な国から技能実習生等が来日される可能性が高い。アンケート調査からも、技能実習生等の外国人も日本語を学んでみたいという希望が高いことが分かった。外国籍住民全ての国の母語話者を揃えるのではなく、共通言語として日本語を学んでもらい、多文化共生の進んだ街づくりを目指す。

日本語を学ぶ場、日本語を使う場、サポートする人材育成の3点を視野に入れた活動を展開する。

2. 調査・研究資料提供事業

① JICA草の根技術協力事業(草の根パートナー型)

「新ブランド作物(玉ねぎ)による農家の収入向上～フードバリューチェーン構築～」

<通年 於：モンゴル国>

3月にプロジェクトコーディネーターと技監を現地に派遣した。遠隔指導も含めて、専門家や関係機関と連携を図りながら進めている。今年度は、渡航できる時期を探りながら、モンゴル国トゥブ県ジャルガラント村にて直接指導を含めて2年目の育苗～収穫をとおして事業を展開する。

② 協会ニュース「TIEA'S ROOM」

会員対象として、年4回会報を発行する。

③ 翻訳援助

会員が英語の文書等で困難を感じている時に簡単な翻訳支援を行う。

④ 国際交流・国際協力に関する情報提供

当協会が保有している国際交流・国際協力に関する書籍・雑誌等を会員に貸し出す。

Ⅲ 法人会計

Ⅰ. 調査・研究資料提供事業

① FM G' S k y 番組「てい～ずる～む」

地域の国際交流・国際協力等の情報を提供することを目的として、平成13年11月の開局当初からオン・エアしており、本年度で22年目を迎える。市内外在住外国人、国際関係イベント等の情報提供を主体に、会員の出演を促す。観光国際課観光国際係の支援を受けて、協会事業の裾野を広げる手段の一つとして活用する。 【毎週土曜日11:00～12:00、周波数77.9MHz】

② ホームページ

平成11年度に開設して以来、随時最新情報を提供し、有益な情報を会員等に提供するよう利活用に努める。さらに、当協会を応援してくださっているボランティア皆様を中心となり立ち上げた、Facebookページ「TIEA Friends」（平成26年度開設）を情報発信ツールとして活用する。

HPアドレス <http://www.msknet.ne.jp/~tiea/index.html>

2. 組織の強化並びに会員の加入促進

① 事務局組織の整備

効率的な事務処理並びに、ポストコロナ時代における事業を模索しつつ、感染予防対策を意識しながら会員の協会事業への積極的な参加を目指して、事務局機能の充実を図る。

② 地域住民と協働した組織体制の確立

通訳ボランティアや日本語ボランティア、イベントボランティア、ホストファミリー等の組織化を図り、地域住民を主体とした事業展開ができる体制を確立する。

・ 会員対象事業の充実

会員を対象とした事業を実施することにより国際化の深化を図り、個人会員加入を促進する。また、企業・団体、周辺自治体等と当協会事業の周知、連携を図り、より一層団体会員の増強を図る。

経費の負担（案）について

定款第7条に定めのあるこの法人の事業活動費用に充てるため、令和4年度の会員は、次の年会費を納めるものとする。

(1) 個人会員	1口	3,000円	1口以上
(2) 法人等会員	1口	10,000円	1口以上

議案第3号

収支予算書

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①会費収入			
正会員会費収入・個人	348,000	360,000	△ 12,000
正会員会費収入・団体	740,000	810,000	△ 70,000
賛助会員会費収入・個人	480,000	540,000	△ 60,000
賛助会員会費収入・団体	80,000	80,000	0
会費収入計	1,648,000	1,790,000	△ 142,000
②事業収入			
自主事業収益	3,388,000	2,501,000	887,000
受託事業収益	21,200,000	35,200,000	△ 14,000,000
事業収入計	24,588,000	37,701,000	△ 13,113,000
③補助金等収入			
地方公共団体補助金収入	3,450,000	3,450,000	0
④雑収入			
受取利息収入	2,000	5,000	△ 3,000
雑収入	100,000	200,000	△ 100,000
雑収入計	102,000	205,000	△ 103,000
事業活動収入計	29,788,000	43,146,000	△ 13,358,000
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
旅費交通費支出	7,440,000	5,920,000	1,520,000
通信運搬費支出	650,000	1,295,000	△ 645,000
消耗什器備品費支出	0	120,000	△ 120,000
消耗品費支出	1,000,000	1,629,000	△ 629,000
広告宣伝費支出	250,000	255,000	△ 5,000
燃料費支出	130,000	185,000	△ 55,000
光熱水料費支出	40,000	40,000	0
使用料及び賃借料支出	1,390,000	4,935,000	△ 3,545,000
保険料支出	220,000	315,000	△ 95,000
諸謝金支出	10,725,000	14,605,000	△ 3,880,000
租税公課支出	30,000	30,000	0
負担金支出	80,000	90,000	△ 10,000
助成金支出	150,000	150,000	0
委託費支出	210,000	1,183,000	△ 973,000
会議費支出	60,000	50,000	10,000
支払手数料支出	75,000	120,000	△ 45,000
資材費支出	1,200,000	4,315,000	△ 3,115,000
食糧費支出	410,000	205,000	205,000
研修受入費	30,000	90,000	△ 60,000
印刷製本費	330,000	350,000	△ 20,000
事業費支出計	24,420,000	35,882,000	△ 11,462,000
②管理費支出			
給料手当支出	11,100,000	11,100,000	0
福利厚生費支出	1,900,000	1,800,000	100,000
会議費支出	50,000	50,000	0
交際費支出	70,000	70,000	0
通信運搬費支出	50,000	50,000	0
消耗品費支出	100,000	100,000	0
印刷製本費支出	50,000	30,000	20,000
光熱水料費支出	10,000	10,000	0
賃借料支出	100,000	100,000	0
諸謝金支出	100,000	20,000	80,000
租税公課支出	2,500,000	3,000,000	△ 500,000
負担金支出	200,000	200,000	0
支払手数料支出	20,000	20,000	0
雑支出	50,000	200,000	△ 150,000
管理費支出計	16,300,000	16,750,000	△ 450,000
事業活動支出計	40,720,000	52,632,000	△ 11,912,000
事業活動収支差額	△ 10,932,000	△ 9,486,000	△ 1,446,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①基本財産取崩収入			
定期預金	0	5,000,000	△ 5,000,000
②特定資産取崩収入			
国際交流国際協力推進基金	0	1,500,000	△ 1,500,000
事業・運営調整積立金	7,000,000	0	7,000,000
特定資産取崩収入計	7,000,000	1,500,000	5,500,000
投資活動収入計	7,000,000	6,500,000	△ 500,000
2. 投資活動支出			
①固定資産取得支出			
事業・運営調整積立金	0	6,000,000	△ 6,000,000
投資活動支出計	0	6,000,000	△ 6,000,000
投資活動収支差額	7,000,000	500,000	6,500,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
当期収支差額	230,704	544,154	△ 313,450
当期収支差額	△ 4,162,704	△ 9,530,154	5,367,450
前期繰越収支差額	4,162,704	9,530,154	5,367,450
次期繰越収支差額	0	0	0

収支予算書総括表

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	継続事業	その他事業	法人会計	内部取引等 消去	合計
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
① 会費収入					
正会員会費収入・個人	0	0	348,000	0	348,000
正会員会費収入・団体	0	0	740,000	0	740,000
賛助会員会費収入・個人	0	0	480,000	0	480,000
賛助会員会費収入・団体	0	0	80,000	0	80,000
会費収入計	0	0	1,648,000	0	1,648,000
② 事業収入					
自主事業収益	2,020,000	1,368,000	0	0	3,388,000
受託事業収益	4,000,000	17,200,000	0	0	21,200,000
事業収入計	6,020,000	18,568,000	0	0	24,588,000
③ 補助金等収入					
地方公共団体補助金収入	0	0	3,450,000	0	3,450,000
④ 雑収入					
受取利息収入	0	0	2,000	0	2,000
雑収入	0	0	100,000	0	100,000
雑収入計	0	0	102,000	0	102,000
事業活動収入計	6,020,000	18,568,000	5,200,000	0	29,788,000
2. 事業活動支出					
① 事業費支出					
旅費交通費支出	4,650,000	2,790,000	0	0	7,440,000
通信運搬費支出	95,000	555,000	0	0	650,000
消耗品費支出	240,000	760,000	0	0	1,000,000
広告宣伝費支出	80,000	170,000	0	0	250,000
燃料費支出	10,000	120,000	0	0	130,000
光熱水料費支出	30,000	10,000	0	0	40,000
使用料及び賃借料支出	940,000	450,000	0	0	1,390,000
保険料支出	50,000	170,000	0	0	220,000
諸謝金支出	2,650,000	8,075,000	0	0	10,725,000
租税公課支出	10,000	20,000	0	0	30,000
負担金支出	80,000	0	0	0	80,000
助成金支出	150,000	0	0	0	150,000
委託費支出	80,000	130,000	0	0	210,000
会議費支出	40,000	20,000	0	0	60,000
支払手数料支出	55,000	20,000	0	0	75,000
資材費支出	200,000	1,000,000	0	0	1,200,000
食糧費支出	280,000	130,000	0	0	410,000
研修受入費	30,000	0	0	0	30,000
印刷製本費	230,000	100,000	0	0	330,000
事業費支出計	9,900,000	14,520,000	0	0	24,420,000
② 管理費支出					
給料手当支出	0	0	11,100,000	0	11,100,000
福利厚生費支出	0	0	1,900,000	0	1,900,000
会議費支出	0	0	50,000	0	50,000
交際費支出	0	0	70,000	0	70,000
通信運搬費支出	0	0	50,000	0	50,000
消耗品費支出	0	0	100,000	0	100,000
印刷製本費支出	0	0	50,000	0	50,000
光熱水料費支出	0	0	10,000	0	10,000
賃借料支出	0	0	100,000	0	100,000
諸謝金支出	0	0	100,000	0	100,000
租税公課支出	0	0	2,500,000	0	2,500,000
負担金支出	0	0	200,000	0	200,000
支払手数料支出	0	0	20,000	0	20,000
雑支出	0	0	50,000	0	50,000
管理費支出計	0	0	16,300,000	0	16,300,000
事業活動支出計	9,900,000	14,520,000	16,300,000	0	40,720,000
事業活動収支差額	△ 3,880,000	4,048,000	△ 11,100,000	0	△ 10,932,000
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
① 特定資産取崩収入					
事業・運営調整積立金	0	0	7,000,000	0	7,000,000
投資活動収入計	0	0	7,000,000	0	7,000,000
2. 投資活動支出					
投資活動支出計	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	7,000,000	0	7,000,000
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出					
財務活動支出計	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
IV 予備費支出					
当期収支差額	△ 3,880,000	4,048,000	△ 4,330,704	0	△ 4,162,704
前期繰越収支差額	0	0	4,162,704	0	4,162,704
次期繰越収支差額	△ 3,880,000	4,048,000	△ 168,000	0	0

令和4年度事業別収支予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	前年度予算額	本年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①会費収入	1,790,000	1,648,000	△ 142,000	
②補助金等収入	3,450,000	3,450,000	0	
・地方公共団体補助金	3,450,000	3,450,000	0	滝川市補助金
③負担金収入	2,501,000	3,388,000	887,000	
・ジュニア大使訪問団派遣事業参加者負担金	0	740,000	740,000	
・ステイター参加者負担金	809,000	1,280,000	471,000	
・語学教室受講者負担金	1,692,000	1,368,000	△ 324,000	
・その他負担金	0	0	0	
④事業収入	35,200,000	21,200,000	△ 14,000,000	
・JICAアフリカ地域課題別研修コース事業	4,500,000	4,000,000	△ 500,000	
・JICAモンゴリアンビーク国別研修コース事業	4,500,000	0	△ 4,500,000	
・JICAモンゴル草の根技術協力事業	20,000,000	15,000,000	△ 5,000,000	
・自治体職員～(LGOTP)モンゴル国建設技術研修員受入事業	4,000,000	0	△ 4,000,000	
・英語検定事業	2,200,000	2,200,000	0	
⑤雑収入	205,000	102,000	△ 103,000	
・その他寄付金収入	0	0	0	
・受取利息	5,000	2,000	△ 3,000	
・その他雑収入	200,000	100,000	△ 100,000	
事業活動収入計	43,146,000	29,788,000	△ 13,358,000	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	35,882,000	24,420,000	△ 11,462,000	
○国際交流事業費	1,170,000	3,500,000	2,330,000	
・ジュニア大使訪問団派遣事業	0	3,000,000	3,000,000	
・その他の国際交流事業	1,170,000	500,000	△ 670,000	
○国際協力事業費	7,605,000	3,900,000	△ 3,705,000	
・JICAアフリカ地域課題別研修コース事業	3,435,000	3,400,000	△ 35,000	
・JICAモンゴリアンビーク国別研修コース事業	3,570,000	0	△ 3,570,000	
・その他の国際協力事業	600,000	500,000	△ 100,000	
○国際理解事業費	2,864,000	3,500,000	636,000	
・語学講座事業	994,000	1,000,000	6,000	
・ステイター事業	1,320,000	2,000,000	680,000	
・その他の国際理解事業	550,000	500,000	△ 50,000	
○調査研究資料提供事業費	24,243,000	13,520,000	△ 10,723,000	
・英検事業	1,950,000	1,900,000	△ 50,000	
・協会ニュース事業	180,000	120,000	△ 60,000	
・自治体職員～(LGOTP)モンゴル国建設技術研修業務委託事業	2,930,000	0	△ 2,930,000	
・JICAモンゴル草の根技術協力事業	17,520,000	11,000,000	△ 6,520,000	
・協会創立周年事業	1,000,000	0	△ 1,000,000	
・その他の調査研究資料提供事業	663,000	500,000	△ 163,000	
②管理費支出	16,750,000	16,300,000	△ 450,000	
・人件費支出	12,900,000	13,000,000	100,000	
・事務費支出	3,400,000	3,000,000	△ 400,000	
・会議費支出	50,000	50,000	0	
・負担金支出	200,000	200,000	0	
・雑支出	200,000	50,000	△ 150,000	
事業活動支出計	52,632,000	40,720,000	△ 11,912,000	
事業活動収支差額(A)	△ 9,486,000	△ 10,932,000	△ 1,446,000	

令和4年度事業別収支予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	前年度予算額	本年度予算額	増 減	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
①基本財産取崩収入	5,000,000	0	△ 5,000,000	
・ J Aたきかわ	5,000,000	0	△ 5,000,000	
②特定資産取崩収入	1,500,000	0	△ 1,500,000	
・ 国際交流・国際協力推進基金取崩収入	1,500,000	0	△ 1,500,000	
③固定資産取崩収入	0	7,000,000	7,000,000	
・ 事業・運営調整積立金取崩収入	0	7,000,000	7,000,000	
投資活動収入計	6,500,000	7,000,000	500,000	
2. 投資活動支出				
①固定資産取得支出	6,000,000	0	△ 6,000,000	
・ 事業・運営調整積立金支出	6,000,000	0	△ 6,000,000	
・ 什器備品購入支出	0	0	0	
投資活動支出計	6,000,000	0	△ 6,000,000	
投資活動収支差額(B)	500,000	7,000,000	6,500,000	
Ⅲ財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
・ 財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
・ 財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額(C)	0	0	0	
Ⅳ予備費支出(D)	544,154	230,704	△ 313,450	
当期収支差額(A)+(B)+(C)-(D)=(E)	△ 9,530,154	△ 4,162,704	5,367,450	
前期繰越収支差額(F)	9,530,154	4,162,704	△ 5,367,450	
次期繰越収支差額(E)+(F)	0	0	0	